

ゆいのもり通信

2007 No.14

2007年9月1日発行
ゆいのもり編集委員会
昭島市田中町1-1-9
TEL042-545-5451

～ゆいのもり施設利用希望調査から～

利用希望事業は「就労継続支援」「就労移行支援」「地域活動支援センター」の順

2006年に施行された障害者自立支援法により、ゆいのもり福祉協会では、「就労移行支援事業」「就労継続支援事業」「地域活動支援センター」などの新たな事業への取組みを模索中です。2006年9月には、利用者やご家族のニーズを知るために、「施設利用希望調査」を行いました。ゆいのもり3施設の利用者像は、年齢層は30代、40代が半数以上の一方、50代以上の方も3分の1を占め、性別では男性6割、女性が4割、生活面ではご家族と同居の方が6割、単身生活が4割という状況です。今回の調査には3施設合計で107通の回答をいただきました。回収率は実に94%で、今後の施設のあり方に対する関心の高さがうかがえました。ご協力くださった皆さん、本当にありがとうございました。



アンケートからは、大方の人はそれぞれの施設が気に入り、仲間や親友ができ、楽しんで作業を行っていることがわかりました。一般就労と違ってゆっくり仕事が覚えられ、体調に合わせて作業できる点に安心感を覚える人が多いようです。また旅行、スポーツを始めさまざまなレクリエーションや、食事作りや給食を楽しみにしている人の記述も目立ちました。

●今後利用してみたい事業

「就労継続支援事業」41%、「就労移行支援事業」27%、「地域活動支援センター」27%の順でした。

●利用目的(複数回答)

施設の利用目的は、「1日の生活リズムを整える」64%、「作業してお金を得る」48%、次いで「仲間や友達がいる」「毎日通所し、1日を安定して過ごす場所として」がともに43%の順でした。

●やって欲しいこと、続けて欲しいこと(複数回答)

「困っていることや将来についての相談」60%、「仲間

と楽しく過ごせる場所、時間の保障」44%、次いで「作業の種類を増やす」「楽しめるプログラムを行う」「いつでも生活上の相談にのる」の3つが43%で同率でした。気に入っていることの自由記述142件を9つに分類して分析したところ、「仕事や作業」が3割強を占め、次いで「レクや行事」約3割、「職員」約1割の順でした。

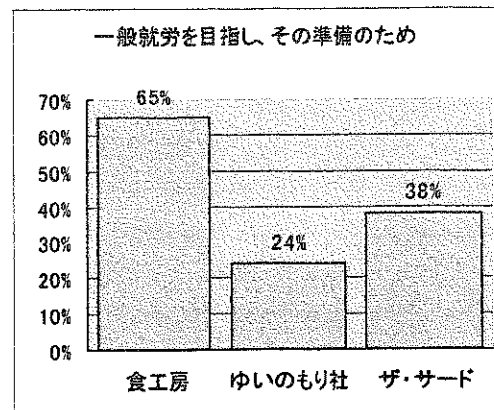
●改善点

81件ありました。「満足している、特にない」が3割強と最も多い反面、「作業・仕事」と「工賃」に対し改善を求める記述がそれぞれ1割強ありました。

今回の調査では、3施設の利用者ニーズの違いがくっきりと現れました。ゆいのもり社は男性が7割を占め、50代以上の方が半数を超えることが特徴です。食工房も男性が7割を占めますが、年齢層はバランスがよいこと。ザ・サードゆいのもりは6割強を女性が占め、30代が半数を超える若い集団であることが特徴です。

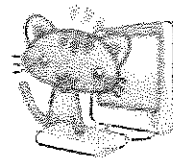
このような違いが最もよく現れたのが施設利用目的です。例えばゆいのもり社とザ・サードゆいのもりを比較すると、「1日の生活リズムを整える」はゆいのもり社は7割以上ですが、ザ・サードゆいのもりは5割に留まります。一方、「一般就労を目指し、その準備のため」は、ザ・サードゆいのもりは約4割ですが、ゆいのもり社は約2割に過ぎません。その理由は、ゆいのもり社の利用者は半数以上を50歳以上が占める一方、ザ・サードゆいのもりは30代が半数を超えることにありと推察されます。

調査結果からは、精神障害者が地域の中で無理なく暮らすために必要となる支援はさまざまあり、年齢、性別などによっても違いがあること、したがってそれら多様なニーズに応えられるようなさまざまなプログラムが求められていることがわかりました。今回の調査結果をふまえ、今後の活動のあり方をさらに検討していく所存です。ご支援、ご協力をよろしく願います。

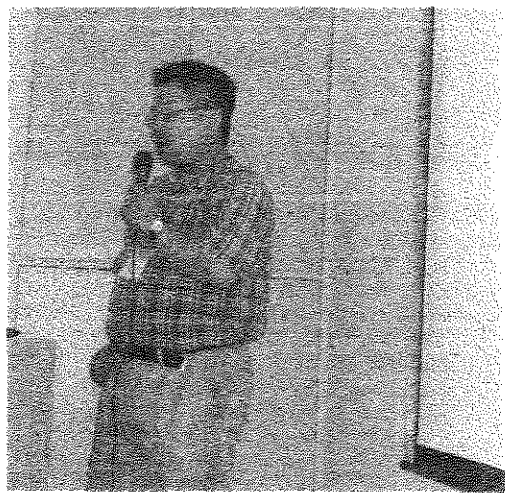


就職に向けてチャレンジ!

こんにちは。私は、食工房ゆいのもりに通い始めて、約1年がたちました。そこでの仕事は、天板といってパンを焼く鉄板をきれいにする仕事や、カフェといって接客の仕事です。いいスタッフと仲間たちに囲まれて楽しく仕事ができました。



私は、就労に向けてのステップとして国立にあるオープナー（就業・生活支援センター）が主催した委託訓練に参加しました。期間は、5月からの約2ヶ月で、一日に4～5時間訓練を受けました。



訓練の内容は、主にパソコンを使っての訓練と名刺交換、電話応対などの対人折衝の訓練です。訓練期間中に関係者や企業を招待してのプレゼンテーションが2回ありました。自分の興味のあることをテーマにしたホームページの作成と、パワーポイントを使っての発表です。私は、花火とお茶をテーマに選びました。発表は、緊張しながらも10分間を乗り切ることができました。訓練中に感じたことは、パソコンの技術を身につけることも大事ですが、人とのコミュニケーションをうまくとることが大切だと感じました。

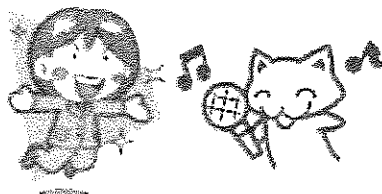
私は今、オープンでの就労を目指しています。病気をかかえながら仕事をしていくことは大変なことだと思いますが、食工房ゆいのもりで学んだこと、訓練で学んだことを大切に、どんな時も精一杯生きていこうと思います。(K. K.)

就職前に技術・体力・自信をつける、K. K.さんはそんな経験ができたようですね。では、実際に働くというのはどういう事なのでしょう?

今年の4月からオープンで就職をしているM. S.さんにインタビューしました。

「オープン」とは
職場に病気のことを理
解してもらって働くこ
とを言います。

ただいま継続中!



- 「どのような仕事を行っているのですか?」
○ 「午前中はパソコンから文書を取り出しています。
来客があった時などはお茶を出したり、後は事務補助で頼まれたことをやります。
少し大変そうだなと思った仕事をやり遂げた時はやりがいを感じます。」
- 「どのようなことが大変だと感じますか?」
○ 「責任のある仕事、あとは複雑で自分で判断したり、臨機応変さを求められる仕事は大変と感じます。
今オープンで働いていますが、私が初めてのケースのように病気について理解してもらうのはなかなか難しい事だと思います。
でもオープンで働く前は不安もあったけど、いざ働いてみるとみんな普通に接してくれて嬉しかったです。」
- 「オープンで働いていて良かったと感じる点はありますか?」
○ 「通院している事を隠さなくていい事と、職場の私の担当職員と食工房の職員に繋がりがあがる事です。」
- 「疲れた時や息抜きの方法を教えてください。」
○ 「親しい人と楽しい時間を過ごす、おいしいものを食べる、睡眠をよく取る、です。」
- 「食工房に通ったことで今に繋がっていると思う事はありますか?」
○ 「パソコンを教えてもらった事もそうですが、ゆいのもりに通っていた頃、朝少し調子が悪かったり、行きたくないなーなんて日も通った経験が今に繋がっていて、よい訓練になっていたんだなーと思います。」

「まだ始まったばかり、時間をかけて周りの人と慣れていきたい。」とも話してくれたM. S.さん。
食工房に通い始めた時には目標だった就職を、今は現実に変えて日々M. S.さんは頑張っています!



「旧共同作業所、食工房ゆいのもり (所在地: 市内中神町1256番地、都営中神アパート5号棟1階)」は現在の通所授産施設の前身となった施設です。1993年1月～2003年3月まで10年と3ヶ月間活動を行い、社会福祉法人格「ゆいのもり福祉協会」を得て現在の建物 (所在地: 市内上川原町1-9-15に移り、パン売り場にカフェを併設する事業へ進展することができました。今回は後半の5年間について振り返りまとめました。(嶋田敦子)

メンバー状況



この頃からグループホームや介護寮などからの利用希望が少しずつ増えてきたことが特徴として上げられるかと思えます。

利用者個人について述べることはできませんが、精神の状態が思わしくない、身体の病気やケガ、親御さんの他界などの事情で通所が継続できなくなるケースがいくつかありました。なかでも、ホームヘルパー制度が未整備のころでしたが、入院治療を希望されていたが叶わず2002年6月自宅で倒れて他界されたメンバーのことは私にとっても非常に重たい課題として心に刻まれました。

パン作業の様子



パン作業は朝9時から仕込みを職員が開始、10時～利用者とな力を合わせて分割丸め成形などの作業を行い午後2時に出荷していました。関係機関のご協力による予約注文や施設給食用のパン配送が主流でした。

パン作業にはボランティアのSさん、Wさん、留学生のRさん、Yさんなども加わり時にはおしゃべりもしながら和気あいあいと仕事が進められていました。

1995年3月に木下財団より「オーブンスチーマー」設置の寄付、1998年12月にヤマト福祉財団より粉ケース付作業台設置の寄付をいただきました。1998年3月ドウコンディショナーの購入と1999年9月に天然酵母講習会を受講したことにより天然酵母パン等の受注生産に向けて支度が整いました。市内の保育園からのご希望に応じて天然酵母パンの配送が開始されました。

ショックフリーザー (2000年3月) とリバースシーター (2001年3月) の購入によりさらに機械設備が充実し作業活動に役立っています。

実習生の受入れ



1999年12月より青梅看護専門学校から看護学生の実習受入れを開始し現在も続いています。

そのほかホームヘルパーや精神保健ボランティア (東京都立多摩精神保健福祉センター) の実習生の方々も一緒にそのつど作業やレクリエーションなど活動を担っていただきました。

法人化に向けて



以下法人化に向けての足跡は準備検討期間も含めると作業所時代の食工房ゆいのもりの歴史の約半分となるのがわかり少々驚きを感じています。この激動期 (通常活動を実施しながらの法人立ち上げ準備と建物建設など) について記しておきたいと思えます。

1998～2000年頃 法人化について職員会議で検討、都衛生局に法人化について問い合わせ、建築士の方、土地提供予定者との情報交換

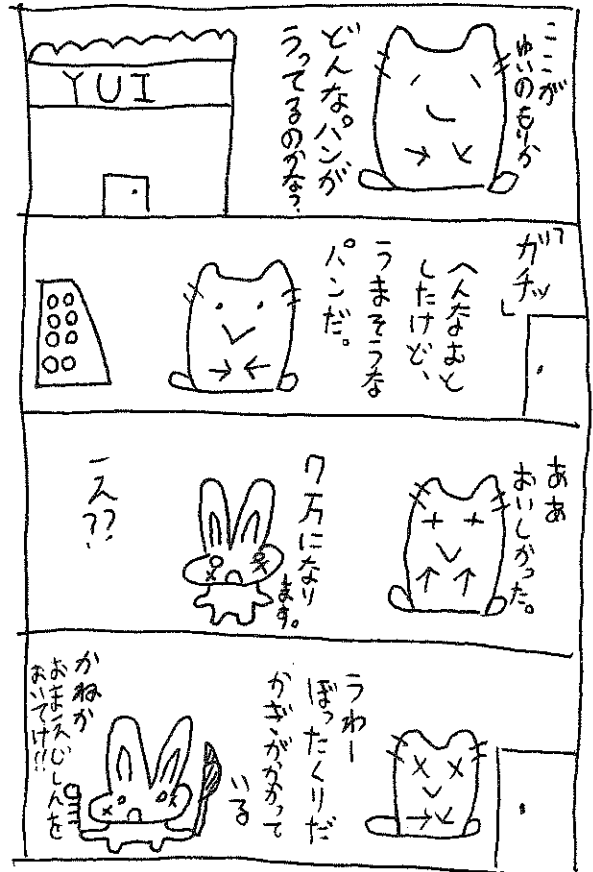
2001年頃 法人化検討委員会開催、市と法人化について協議検討 理事長、理事予定者へ協力依頼、地元説明会開催、設立委員会開催、

法人化&授産施設建設について利用者に説明会開催、多摩地区授産施設等の見学会開催

2002～2003年頃 授産施設「パイ焼き窯」見学と学習会、「ゆいのもり福祉協会」設立認可 (2002年9月30日) 土地の測量、授産施設の建設着工と完成、共同作業所の廃止と授産施設への引越

笑撃のデビュー作!

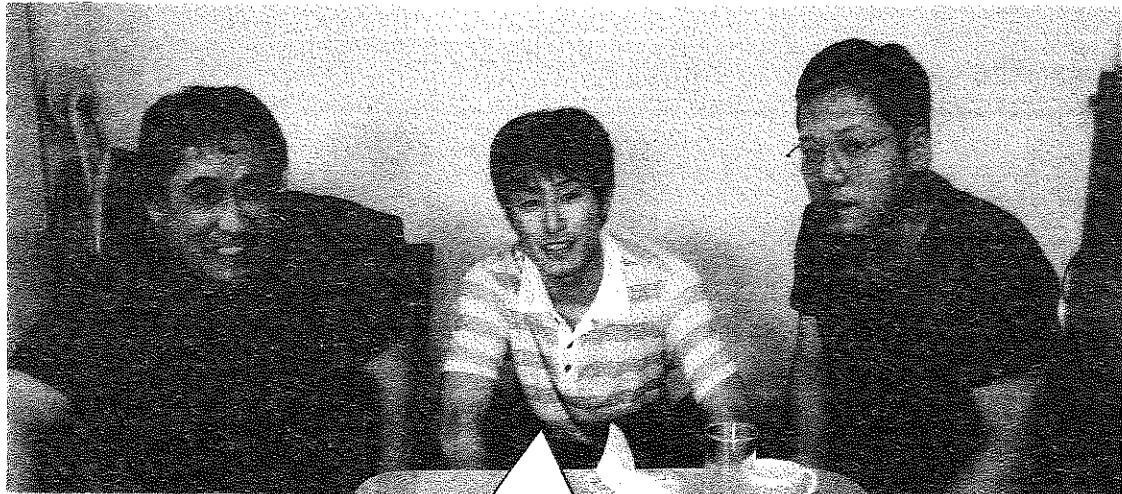
GO! GO! グーちゃん その1
イ作 ハヤヒー



本物の食工房では良心的な価格で販売しております。

皆さん安心してご来店ください。

ゆいのもり社 新職員の紹介



<名前> 田中 健
<誕生日> 1981年7月28日
<血液型> AB型
<趣味> ドライブ 読書 パソコン ゲーム
スノーボード

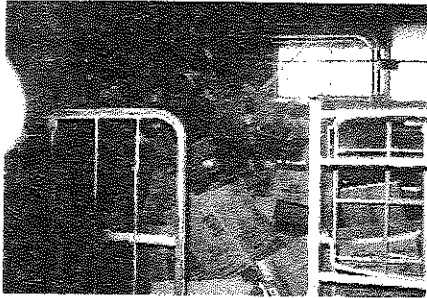
今年の3月に大学を卒業し、ゆいのもり社で働かせていただいています。大学では福祉系の学科で精神保健福祉を専門に勉強してきました。実は、ゆいのもり社の非常勤職員の神田さん（昨年のゆいのもり通信に載っています）とは、同じ大学・サークルでした。大学時代は先輩でしたが、ゆいのもり社では後輩という、ちょっとおもしろい関係です。ゆいのもり社にきて4ヶ月ほどたちましたが、清掃・WAX・室内作業など、職員、メンバーのみなさんに助けられてばかりの毎日です。これからも、みなさんと一緒にがんばっていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

新しい作業が始まりました！

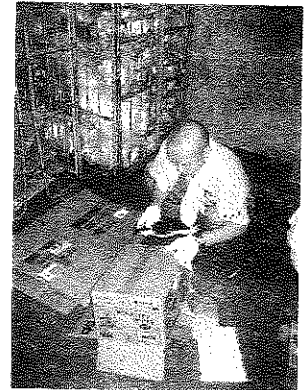
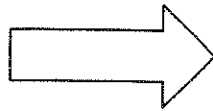
ダンボールつぶし

7月から㈸ビップ物流昭島センターでダンボールつぶしの作業が始まりました。

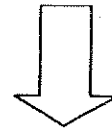
「ゆいのもり社」(月・水)と「食工房ゆいのもり」(火・金・土)でメンバー4人が午後1:30~3:30までの2時間作業をしています。



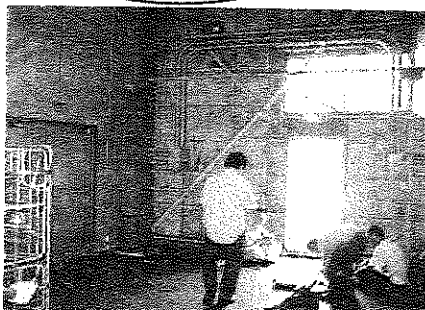
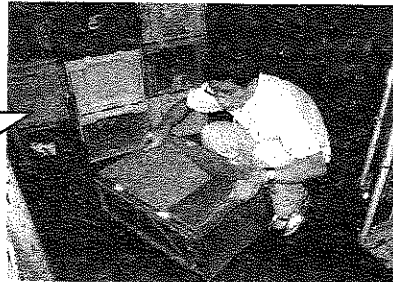
はじめはこんなに山積みのダンボールを…



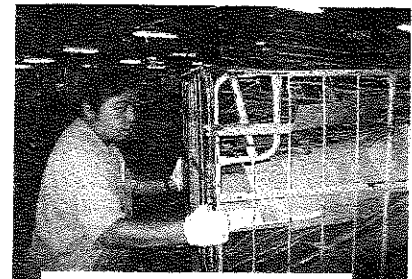
カッターで開けてたたんでいきます



他にも
オリコンの組み立て
を行っています



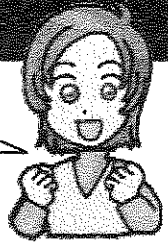
すっきりとなりました！



ダンボールを積んだ
かご車を運びます

～体験した方たちの感想～

- ☆ 大変だった…けど、マラソンの後のようにすっきりとした疲れだった。
- ☆ 性に合っていて、やりやすかった。
- ☆ おもしろかった。
- ☆ 作業所ではなく企業の中での作業だけど、職員や他のメンバーがいるので安心してできる。
- ☆ 最初はたくさんあったダンボールが、終わってみるときれいに無くなっていたのが不思議だった。



「好きなんです、この仕事が！」

「いつもお仕事、大活躍ですね？」

「喫茶で働く」 キイロトリ

「厨房で働く」 でんでん

いつも気持ちのいい接客を見せてもらっています。

- 「お客さんとふれあうのが楽しくて(*。*)。喫茶の仕事に生きがいを感じます。今までやった仕事の中でもナンバー1か2です。接客だけでなく作るほうも楽しくて(*。*)。食べものを扱う職業が好きなんです」
- 喫茶森のどこが気に入っていますか？
- 「まず人間関係がすごくいいですね。喫茶森にははすてきなものがいっぱいあるし、センスがいい。お客さんの前でも洗いのなどをやる。見えていることで衛生的です」
- 喫茶の仕事は臨機応変でハードですか？
- 「仕事が終わると充実感があります。でも、自己嫌悪にもなって…。仕事でもいつも磨きぬかれた早番の人にカバーしてもらっています。主治医には“与えられたことを与えられた分やればよい”と励ましてもらっています」
- 願わくば、毎日仕事をもっとあるといい？
- 「そうですね。仕事がない日でも早く行きたいとウズウズして、あと何日で仕事だとワクワクしてるんですよ」
- キイロトリさんは仕事も休まないし、お客さんへの語り口、態度などはみんなの模範ですよ。
- 「そんなそんな。劣等生ですが、働かせていただけてありがたいです」

「仕事中、幻聴に邪魔されることもあります。でも、相手にしないで振り払い、仕事はきっちりとやります。」

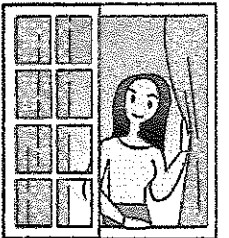
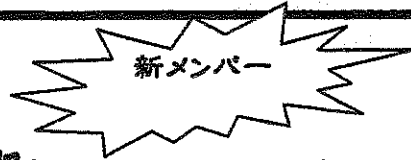


厨房の仕事のいいところは？

- 「厨房だとお客さんのペースでなく自分のペースで働くことができます。料理も覚えられるし、修行になります。ケーキなんかは家で作ろうとしても食べられる量とか考えると作れないので、サードで作れてよいです」
- 裏方さんからみて、お客さんに“ここに注目してほしい”というところはありますか？
- 「ひとつ一つ手づくりしているところですかね。出来合いのもの袋から出して使うようなことがないし」
- ずっと皆勤賞を獲り続けていますね？
- 「皆勤賞は仕事を続ける原動力になる。目標があるという感じ。それがあるとがんばれます」
- 行事にもいっぱい参加していますね。お気に入り？
- 「バレーボールがやけに楽しかった。ケーキパイキングは作るのも食べるのも楽しいです」
- お弁当作りや配達でも活躍されていますね？
- 「“儲かってるぞ”という実感もてるので、みなさんもっと注文してください。食工房やグループホームなどから注文を受けています。障害者同士でお互い助け合っています」

「仕事が丁寧で、職員の指示どおり仕事をこなすでんでんさんは職員からの信頼も厚いです。ランチの下ごしらえやケーキ作り、お弁当のバック詰めなど、でんでんさんと一緒に厨房の仕事にミスがでず、とてもはかどります。」

■ メンバー投稿 vol. 1 ■



「人の助けを借り、自分だけが何かしなくてはならぬ」 福助

外に出られないと思った時期があり、その後も中途半端に家にこもっていた。先生を始め両親、保健師さん、虹のセンター、サードの職員さんで行くところへ行って自分自身の気持ちを受け止め助けをもらい、人との繋がりを持ち働けるようになるためにいつのまにかここに来てもらっている。人の中だと気持ちがいっぱいになる日もあるけれど、ここでさみしく感じたことはない気がする。みんな色々抱えながらがんばっている。それを自分の力にできるようにしたい。家にばかりいた時と変わらず自分のことばかりだけど、一緒にいさせてもらって、無理しないでいいのかなと思いはじめている。思い切って出てみたらそのまますべて受けとめてくれる人達に会えて、ちょっとずつ前を向けるようになると思う。

「やっぱり人の中がいい。」

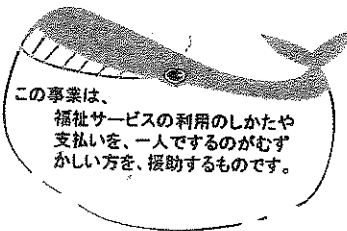
年中活動	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
園芸部 (フラワーアレンジメント・園芸活動)	手しごとクラブ (大人のぬり絵、パッチワーク)	シネマクラブ	作って食べよう	健康診断 & お食事ツアー (計3回)	G・W春のほほん企画 (福生南公園) ママズクラブ	お花見 (小金井公園)	授産施設食工房見学ツアー
	手しごとクラブ	シヨイフル本田ツアー	多摩キャン	消費生活展 外出 (昭島市役所)	ソフトパレーボール練習 (ゆいのもり合同・計4回)	お花見 (小井公園)	授産施設食工房見学ツアー
	手しごとクラブ	多摩キャン	大掃除	初夏一泊旅行 (軽井沢)	グリーンフェスティバル (ゆいのもり社に協力)	お花見 (小井公園)	授産施設食工房見学ツアー
	手しごとクラブ	多摩キャン	暑気払い (カラオケ+くじら祭)	手しごとクラブ (パソコンで名刺づくり)	園芸部 春の種まき	お花見 (小井公園)	授産施設食工房見学ツアー
	手しごとクラブ	多摩キャン	暑気払い (カラオケ+くじら祭)	手しごとクラブ (パソコンで名刺づくり)	園芸部 春の種まき	お花見 (小井公園)	授産施設食工房見学ツアー
	手しごとクラブ	多摩キャン	暑気払い (カラオケ+くじら祭)	手しごとクラブ (パソコンで名刺づくり)	園芸部 春の種まき	お花見 (小井公園)	授産施設食工房見学ツアー
	手しごとクラブ	多摩キャン	暑気払い (カラオケ+くじら祭)	手しごとクラブ (パソコンで名刺づくり)	園芸部 春の種まき	お花見 (小井公園)	授産施設食工房見学ツアー

「サービスを利用しながら地域で暮らす」 副題は井戸水



地域福祉権利擁護事業について

社協（社会福祉協議会）さんに繋がったきっかけは借金でした。返し終わった今でも、お金の管理や使い方のアドバイスを受けていて、助かっています。金銭感覚も、自分の理想とするものに近づけていっているため、借金はしてもよかったかもと自分のバカさ加減にも感謝です（半分ジョーク）。



この事業は、福祉サービスの利用のしかたや支払いを、一人でするのがむずかしい方を、援助するものです。

本当の親のように甘たれて、しかしそれだからこそ、アドバイスしてくれる事を守らず怠けたりしていたのですが、長いおつき合いの間に、もう怠け心は消えかけていて、約束の時間を守らないとか、そういった事は少なくなりました。本当に温かな感じを社協さんに受けてきました。

ホームヘルプサービスについて

2年前位から利用しています。主に調理や、食材の買い出しなどを一緒にしています。そして学んでいるのはテキトーな私の調理とプロが教えるテキトーさの味の違い、調理器具の使いようでの調理時間の短縮、いわゆる「手ぬきのコツ」、担当ヘルパーHさん流の下ごしらえetc...

Hさんは月2回入らないと、私がさみしくなると思っているみたいです。Hさんはいつも、とても私が具合が悪くても笑顔で親切です。いろんな世間話をくっちゃべりながら調理したりもしています。私は、やっぱり甘えてるのかなと思います。ホームヘルプサービスが、実は「さみしさいやし」なんてどうでしょう？ そんなんなら心配で、まだサービスを卒業できないでしょう。本当に一人暮らしの食事作りが上手になり、栄養管理や体調管理ができ、そしてひとりだからといって不味いものを作ったりしないで自立できるでしょうかね。そうなったときに卒業なのかなと思います。

自分を大切にできなければ料理もテキトーなままでしょう。自分を大切にしていればさみしさも消えてゆくかもしれません。今はただ、Hさんの心優しさに感謝です。

手続きや人との約束がおっくうな方へ...

精進者の私としては、助けられて安心する事、サービスを受け続ける事によって他人を信じる事もできるようになりました。サービスをする側としてはそれを職業として収入を得るといえて、サービスはお金の為の表の顔だけではないと思うのです。お互いに生きていけば人間関係です。私の我まみや勝手な考えなどで沢山の職員をふりまわしてきました。その度、いつも冷静に優しく等身大の私を客観的に見て言ってくれたり、アドバイスをくれたりしました。手続きが面倒だったり約束の時間に合わせるなど大変だと思う事はありますが、出来なくても次回の為に相手は口がすっぱくなくてもこりずにアドバイスして応援してくれるので「試しにやってみれば？」と言いたいです。相手はあきらめたりしないから、ご心配なく。

p.s. 私は昼夜逆転を直すのに、夜は「ごはん」「フロ」「TV」だけで11:00をすぎたら寝るようにしたんですよ。前は、11:00になってもあれもしたいこれもしたいとミシンぶんだりあみものしたり映画観たりしてたんですけど、とにかく、11:00になったら全てあきらめて寝る事に最近ではしています。その夕方から寝るまでにかけて何を大切にするか、何をあきらめるか(明日にまわすか)今試行錯誤中です。

ありがとう箱

ザ・サードゆいのもり

～サードに教日開設された「ありがとう箱」に多数の投票をいただきました～

こっそりのそいで

見ました



〇さんが洗濯機の水がたまった後、止めておいてくれた。

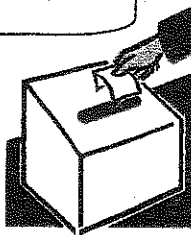
Kさん、準備(注1)のとき下駄箱、その下まで掃除機をかけてくれる。

Mっちはよくみんなにお菓子を作ってきてくれる。Sさんはバレンタインやミーティングのときに手作りお菓子をつくってくれる。

片付け(注2)のタオル干し、いつも手伝ってくれてありがとう。T・Kさん。(見習ってます)

すり気ナベーとしてのご下さ修理、ありがとうございます。

〇さんのほほえみが場をホッとさせてくれます。そしてコップも片づけてくれます。サードのお父さんの存在です。

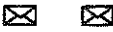


室内のごみ箱のKさん。ごみ箱からごみを取り出すのを助けてくれるKさん。



自分を犠牲にしてよく働く、よく気が付く、「誰かがやればいい」ということを率先して引き受けてくれる……そんな、ひそかな功労者に「ありがとう。」をお返りするコーナーです。

〇さんはいつもみんなのために麦茶をつくらせてくれてありがとう。



Hさんはよく気が付くなくて感謝してしまう。自分のことじゃないのに片付けて帰る(飲みかけのコップを洗ったり)。喫茶で一緒に働いたときも身の回りの整理とかしていたしえらいつて思った。

気を配ってくれたり、ホッとさせる言葉を返してくれてありがとう。〇さん。

Kさんは慣れていない準備(注1)の人に優しくやり方を教えている。



そばにいてくれて、心が晴れてゆく時ってあります。そんな時、そばにいてくれた人にありがとうございます。

Nさんは1つ1ついいねに自分のことがあるのに私の手伝ってくれるので助かります。見ていてお手本にしたいし尊敬してる。

みんなですべて使っているエプロンをいつも洗濯してくれてありがとう。Kさん。

職員の手が塞がっているとき、電話に出て対応している人。

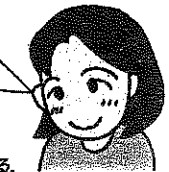
代理のシフトの紹介をしてくれる。

〇さんが100円ランチ(注3)のバックをしてくれる。

明るさに救われます、Hさんに。

灰皿が一杯になるとりかえてくれる人アリガトウ。

いつも、周りの人ががしてくれていることを、ちょっとあたり前に思ってしまうって、自分が何が出来るかを探してはかりなので、色んな人のおかげで動いていることが改めて感じ、よかったです。(～あるメンバーの投票より～)



(注1) (注2)ともにシフトの名称 (注3) 当日のランチの残りは100円で持ち帰れる。

07年1月

12月

11月

10月

08年9月

家族演奏会一病気の人の暮らしからのアプローチ

「パソコンは便利！」を体験しました。ホームページ検索、携帯電話等データ取り込みと印刷、音楽CDづくり、家電店見学ツアーと、目からウロコの連続

120名以上の参加者の目の前で、Kさんが「日中活動の場」の代表として、おもしろおかしく、作業所の紹介をしてくれました。

湯楽の里ツアー パソコン使いこなし講座開始

忘年会(サード)でホームパーティー+カラオケ

大掃除

冬の泊旅行へ 豊神温泉

環境フェスタにて喫茶森営業

ソフトボールへくじら公園

キーキバイキング

ブーケ演奏会観賞(食工房)

委託訓練受け入れ(Sさん)

六本木ヒルズと都心廻りツアー

障害者自立支援法大フォーラムにてアピール行動

ゆいのもり活動報告会

防災館にて防災体験とさくら水産ツアー

多摩パレーポール大会

音楽バンド練習(計6回)

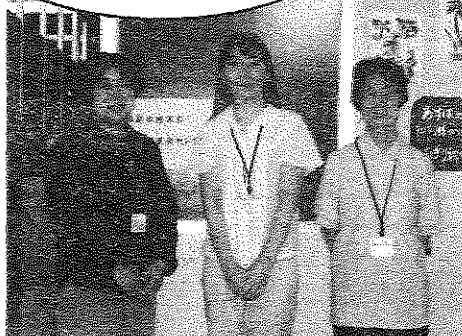
ぶどう狩り(山梨へ)

パソコン教室(計2回)

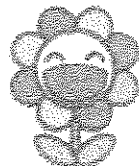
多摩パレーポール大会

活動報告会では、お決まりのバンド演奏と合唱・ダンス。

ザ・サード/喫茶森 2011年



市内に3つめの相談事業所ができたのをご存知ですか？
 相談支援センター自体は開設して間もないですが、経験豊富な保健師さんたちが皆さんを支援してくれます。
 どのようなところなのか詳しい内容を教えて頂きました。
 (写真左から、加藤さん・中谷さん・飯島さん)
 『皆さんこんにちは！当センターは、自立支援法の「相談支援事業者」として、市の委託を受けて平成18年10月にあいぼっく(昭島市保健福祉センター)の2階に開設しました。業務内容等は以下の通りです。』



- 【業務内容】 障害福祉サービスに関する情報提供や活用するための相談・支援
 社会資源を活用するための支援
 社会生活力を高めるための相談・支援
 サービス利用計画案の作成や調整、見直し(モニタリング)の相談・支援
 その他、権利擁護のための相談、ピアカウンセリングや専門機関の紹介
- 【開設時間】 月から金曜日 午前8時30分～午後5時15分(土・日・祭日と年末年始は休み)
- 【対象】 身体障害・知的障害・精神障害のある方、障害のある児童とその保護者の方
- 【連絡先】 電話：042-513-5456 FAX：042-513-5457
- 【相談料】 無料



自分ひとりでは難しいと感じることや、どのようにしたらよいのか分からないとき、ちょっと手助けがほしいな・・・と思うようなときはどうぞご相談ください。
 私たちは皆さんと一緒に考えながら、どのようにしたら望んでいることが叶うのか、必要なサービスを紹介したり、状況に応じた相談を続けながら地域で生活を送っていくことのお手伝いができれば・・・と思っています。』

ショートステイ

またまた
サービスが充実!

知ってて
よかったあ...
ZZZ...



障害者自立支援法が施行され、精神障がいのある方も「短期入所事業(ショートステイ)」サービスを利用できるようになりました。一時的に病状が悪化した場合などに、生活訓練施設(援護寮)のような24時間スタッフがいる場所で、安心して休息ができ、調子を整えることができます。

利用をするのはどんなとき？

生活訓練施設や利用経験者に取材したところによると、一人暮らしをしている方であれば、病状が悪化したことで日常生活がしんどくなってしまった場合や、部屋に一人ぼっちでいて孤立感・不安感・焦燥感などにさいなまれパニック状態・不眠状態に陥ってしまった場合などにショートステイを利用されているとのこと。ほかにも、事情があってアパートを一定期間空けなければならない場合や、ご家族と同居の方であれば、ご家族が外出中の期間も障がい当事者へのサポートを継続するためにショートステイを利用されることもあるそうです。

利用してみたいんだけど... どうしたらいい？

住所地のある区市町村の障害福祉担当窓口で申請をします。ただし、障害認定のための聞き取り調査や審査など、支給決定までの手続には日数がかかります。ショートステイを利用してみたいという方は、あらかじめこうした手続を完了しておくことはもちろん、実際の利用時に不安にならないように事前に施設見学をしておくといでしょう。現在、昭島市にはショートステイできる施設はないため、利用する場合は他市の施設でとなります。

病状と「安心感」の回復のために...

ショートステイは、病状が不安定な精神障がいのある方にとって数少ない「夜間ケア」ができるサービスです。24時間SOSをだせるという「安心感」は、ときにはどんな向精神薬でもかなわないほどの特効薬になります。一人で我慢しすぎないことで状態悪化の波を堰き止める「入院の防波堤」の役割を、おおいに期待するところです。

■編集後記■ 相談支援センターさんの記事いかがでしたか？ 元々横の繋がりが強い昭島ですが、強力な仲間がますます増えています。厳しい話ばかり聞こえてくるようですが、地域は盛り上がっています！(わ)